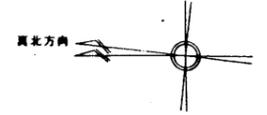
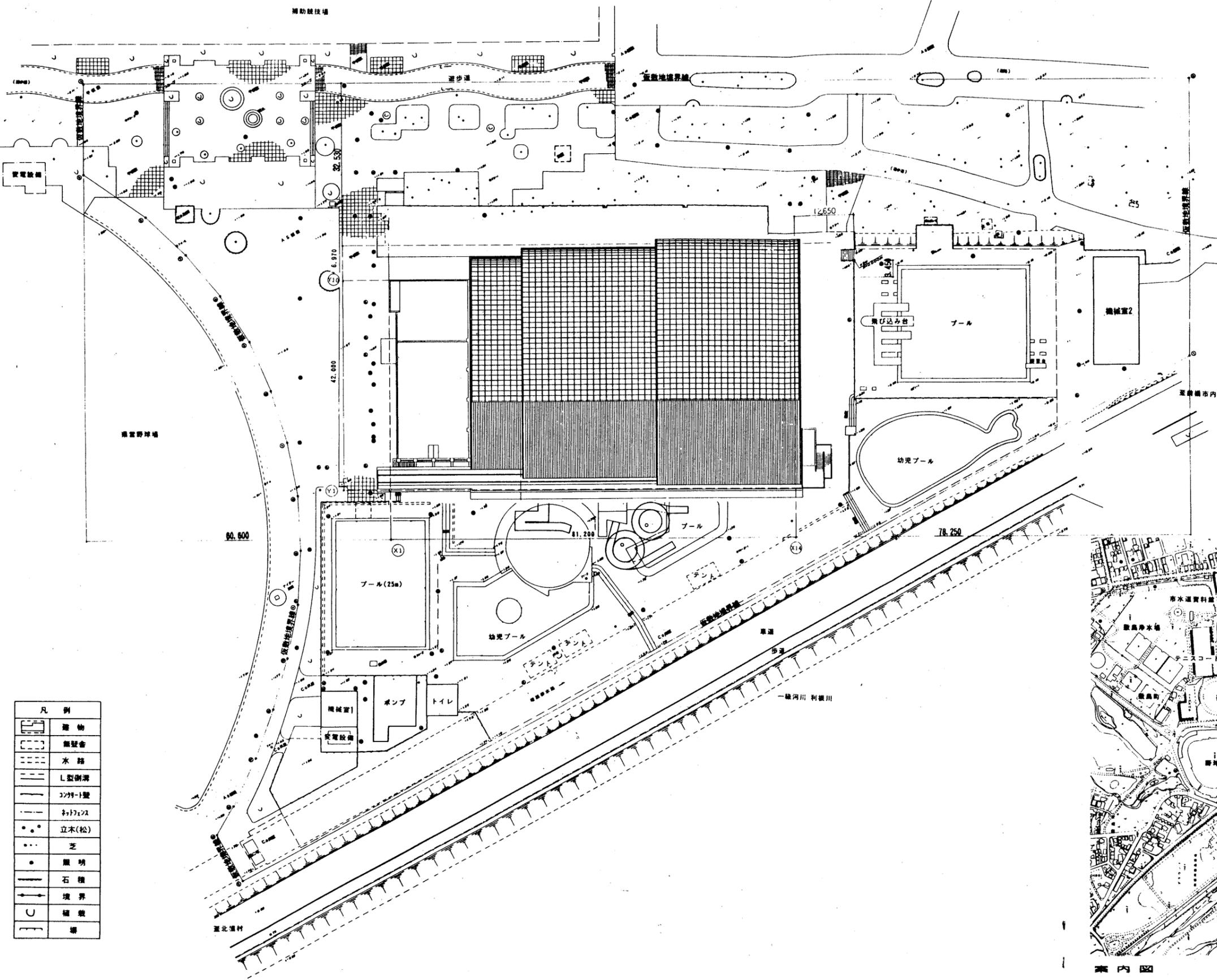


参考資料4: 既存水泳場意匠図

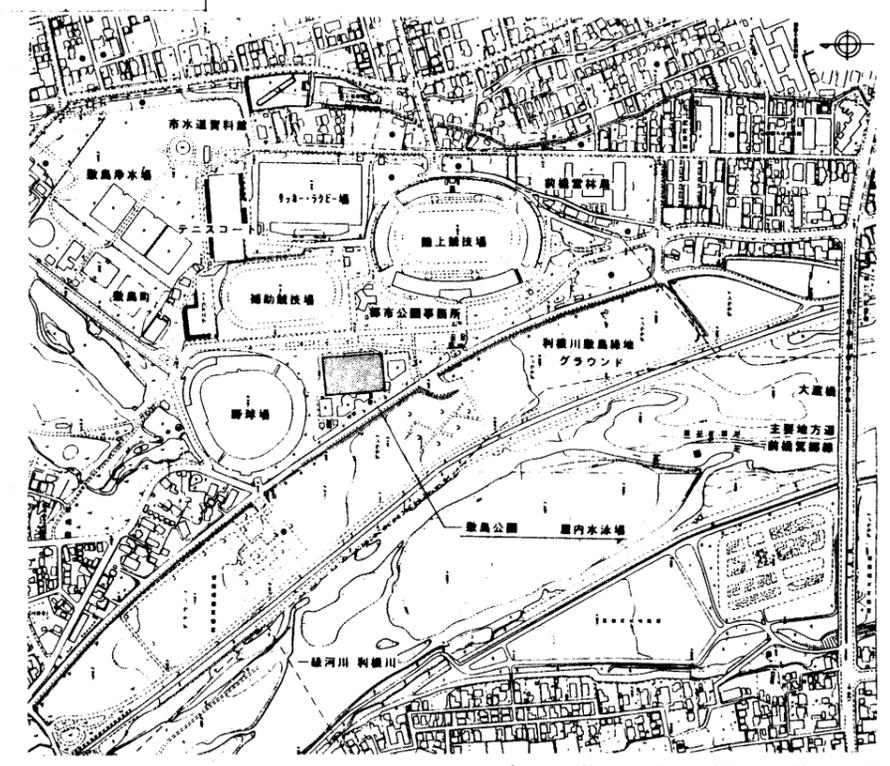


真北方向測定方法
 測定者 (社) 豊和建築士会
 測定日 H07.01.31 P.M. 3:40
 36度25分 139度03分

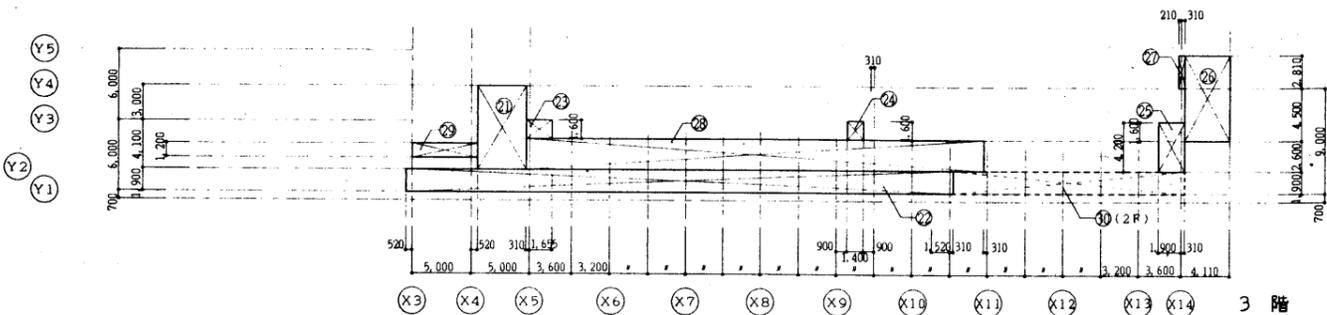
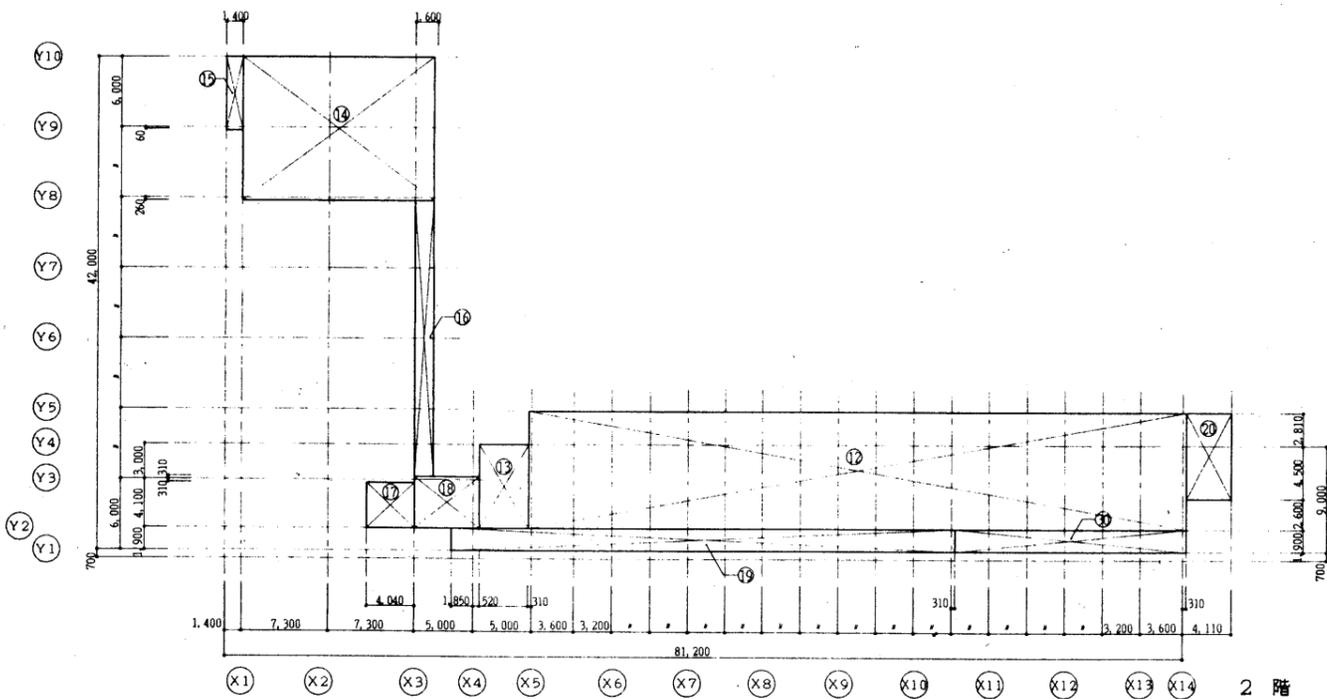
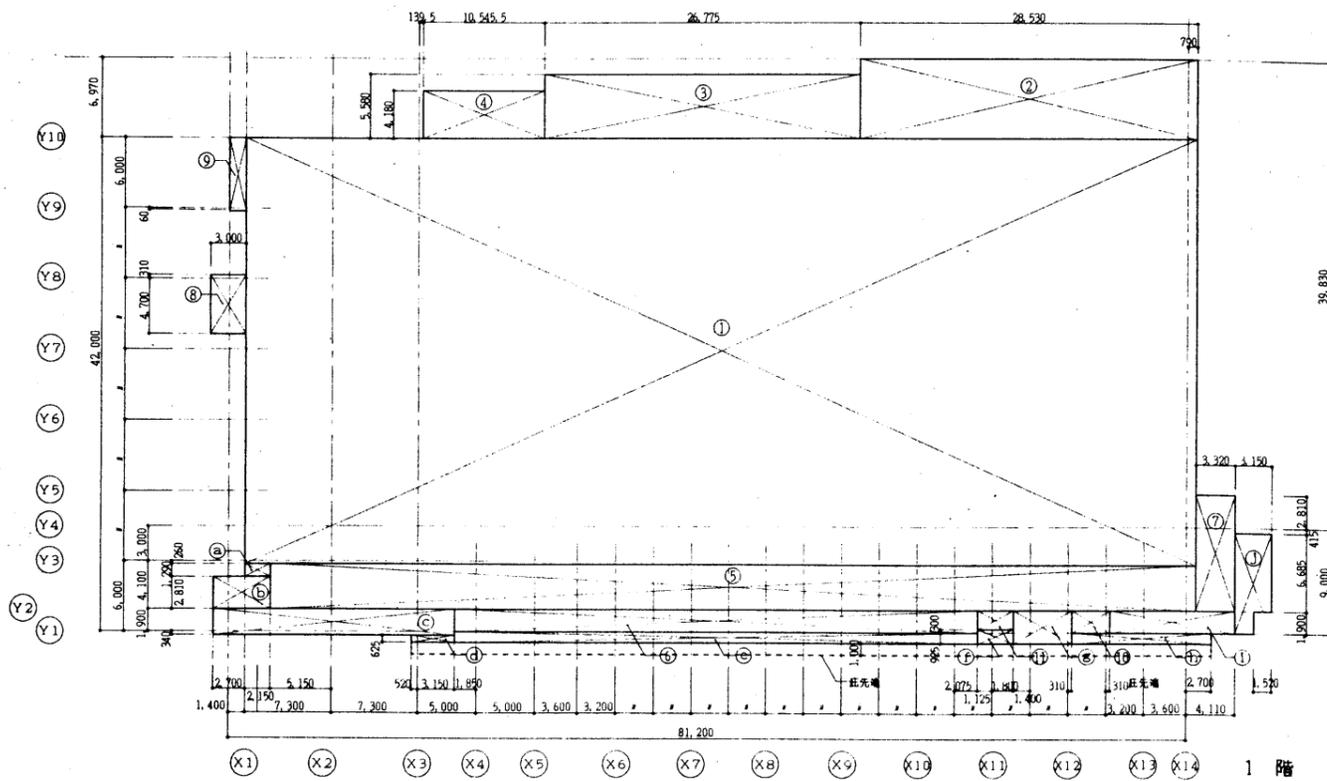


配置図

凡例	
	建物
	更衣室
	水路
	L型排水
	コンクリート壁
	アスファルト
	立木(松)
	芝
	照明
	石積
	境界
	植栽
	場



案内図



建築面積				
①	80.590	×	36.260	2,922.193
②	28.530	×	6.970	198.854
③	26.775	×	5.580	149.404
④	10.5455	×	4.180	44.080
⑤	78.440	×	3.840	301.209
⑥	44.525	×	1.900	84.597
⑦	3.320	×	9.910	32.901
⑧	3.000	×	5.010	15.03
⑨	1.400	×	6.060	8.484
⑩	3.200	×	1.900	6.08
⑪	2.925	×	1.600	4.68
⑫	2.150	×	1.290	2.773
⑬	4.850	×	2.810	13.628
⑭	20.450	×	2.240	45.808
⑮	3.670	×	0.625	2.293
⑯	44.525	×	0.925	41.185
⑰	2.925	×	1.225	3.583
⑱	4.910	×	2.825	13.87
⑲	12.390	×	0.925	11.460
⑳	1.900	×	10.600	20.14
㉑	3.150	×	8.585-1.900×1.520	24.154
①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑				= 3,946.40 m ²

1階 床面積		①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪ = 3,767.51 m ²			
2階 床面積	⑫	55.820	×	9.910	553.176
	⑬	4.170	×	7.100	29.607
	⑭	16.200	×	12.260	198.612
	⑮	1.400	×	6.060	8.484
	⑯	1.600	×	23.430	37.488
	⑰	4.040	×	3.790	15.311
	⑱	5.520	×	4.410	24.343
	⑲	42.760	×	1.900	81.244
	㉑	3.800	×	7.310	27.778
	㉒	19.600	×	1.900	37.24
⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+㉑+㉒				= 1,013.28 m ²	
3階 床面積	⑳	4.170	×	7.100	29.607
	㉑	46.430	×	1.900	88.217
	㉒	1.965	×	1.600	3.144
	㉓	1.400	×	1.600	2.24
	㉔	2.210	×	4.200	9.282
	㉕	3.800	×	7.310	27.778
	㉖	0.520	×	2.810	1.461
	㉗	38.800	×	2.600	100.88
㉘	5.520	×	1.200	6.624	
⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘				= 269.53 m ²	
延べ床面積		1階 + 2階 + 3階 = 3,767.51 + 1,013.28 + 269.53 = 5,050.32 m ²			

床下地リスト	壁下地リスト	天井下地リスト	不燃仕上り材料リスト	材料種別記号
F1: コンクリート金ゴテ	W1: FU ϕ 20 + PB ϕ 12.5 (GL工法、ボードは天井まで)	C1: コンクリート打ちし補修 (型枠B種、コーン壁: 樹脂モルタル充填)	PB ϕ 9.5 不燃第2015号 EP	PB 石膏ボード LGS 乾粒切切り壁 CB カーテンボックス VP 強化ビニル樹脂エナメル
F2: コンクリート木ゴテ	W2: LGS + PB ϕ 9.5 + 12.5 (両面、スラブまで)	C2: コンクリート打ちし補修 (型枠C種、セパレーター無し、積上り建築)	PB ϕ 12.5 不燃第1003号 内装吹付	SPB シーズン石膏ボード FW 鋼製パーテーション BB フライトボックス EP 合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)
F3: F2 + モルタル下地	W3: LGS + PB ϕ 9.5 + 12.5 (両面、天井まで)	C3: LSC + PB ϕ 9.5	化粧PB ϕ 9.5 (不燃) 不燃第1004号 GW・ガラスクロス包み 不燃第1032号	CA クイックカルシウム板 LSC 乾粒下地 CL カーテンレール (ダブル) FP フタル酸樹脂エナメル
F4:	W4: モルタル下地	C4: LSC + CA ϕ 6 (Vカット突付)	化粧PB ϕ 9.5 不燃第2016号 ビニルクロス	化粧PB 化粧石膏ボード FU 現場発泡断熱ウレタン吹付 C カーテン (ドレープ・レース) OP 合成樹脂接着剤
	W5: コンクリートブロック	C5:	化粧PB ϕ 12.5 不燃第2018号 バスリブ 不燃 (個) 第2671号	RB ロックワール化粧石膏板 GL GL工法 (直貼り工法) R ロールスクリーン OSCL オールステインクリアラッカー
	W6: LGS + CA ϕ 6		RW ϕ 12 不燃第1021号	FP フォームポリスチレン
	W7:		CA ϕ 6 不燃第1061号	GW グラスワール
			FGボード ϕ 10 不燃 (個) 第1424号	RW ロックワール

外部仕上表

本 体	可動屋根	屋上1: 強化樹脂ルーフィング ϕ 2.0 + 発泡ポリエチレン ϕ 25 (貫出断熱部)	開口部	一般部: アルミ製 (表面処理: A-1種)	歩 道	カラー平板ブロック (既設撤去済み、300×300×60) + 砕石 ϕ 30 + 切込砕石 ϕ 100 (再生クラッシュラン: RC-40) 乾圧	
		屋上2: 3・4・5: 強化樹脂ルーフィング ϕ 2.0 + 発泡ポリエチレン ϕ 25 (貫出断熱部)		アルミ製・鋼製 (表面処理: B-1種)		床下工事・本体工事において掘削により既設を撤去したものを新設建物に合わせて復旧する	
		パラペット: アルミ製 (既製品) アルミ板木 (既製品) 丸窓: ステンレス製 (屋上4・5)		出入口 (一般部): スチール製フラッシュドア (OP又は: FU-BE)			
		ルーフトレイン: 鋼製 (既製品) クラップ: ステンレス製					
外 壁	外壁	全風量部: 溶融アルミメッキ鋼板 ϕ 0.4立平裏 + アスファルトルーフィング 22kg + 高圧木毛セメント ϕ 25 + 空気層 ϕ 50 + FU ϕ 20 + コムアスファルト系防水シート ϕ 0.7 + 高圧木毛セメント ϕ 25	屋外階段1	断面・屋上: エチレン樹脂ビニル樹脂防水シート ϕ 1.0 + 防水モルタル ϕ 30 + ウレタン系塗料 視覚障害者用合成ゴムタイル、ノンスリップ: 段差タイル (100×200角 段差) 手摺: SUS304	外 構	フェンス	アルミ製鋼製グリッドフェンス 基礎: コンクリート打ちし補修 + シラン系防水剤塗布
		ガラス屋根: ガラス部材 (フロアガラス) ガラス部材 (フロアガラス) 補修ガラス ϕ 19 (FL6+A6+PWC6.8) 引違い窓: アルミ製 FL5		断面・屋上: 防水モルタル金ゴテ ϕ 30、ノンスリップ: 段差タイル (150×66角 段差) 手摺: スチール製 + FP塗料		門 扉 (別注工事)	アルミ製鋼製 (グリッド形状)
		窓枠: ガラス部材 (フロアガラス) ガラス部材 (フロアガラス) 強化ガラス ϕ 6		断面・屋上: エチレン樹脂ビニル樹脂防水シート ϕ 1.0 + 防水モルタル ϕ 30金ゴテ仕上、ノンスリップ: 段差タイル (150×66角 段差) 手摺: スチール製		舗装工事 (別注工事)	エポキシ樹脂接着剤 + アスファルト舗装 ϕ 50 + 切込砕石 ϕ 100 (再生クラッシュラン: RC-40) 乾圧
		スライディングドア: 鋼製 (溶融亜鉛メッキ + ターメスボキシ塗料) 強化ガラス ϕ 5		目隠しパネル: 鉄骨 鋼製下地 + 溶融アルミメッキ鋼板 ϕ 0.5キースト加工済み		障 子 (別注工事)	地先境界ブロックC W150
	メンテナンス用ラダー (ステンレス製)	屋根: 溶融アルミメッキ鋼板 ϕ 0.4平清裏 + コムアスファルト系防水シート ϕ 1.5 + 硬質木片セメント ϕ 18	風除室屋根	先通瓦: アルミ ϕ 4.0			

内部仕上表

区分	室名	床		仕上高 躯体高	巾木又は 腰	高さ	壁		天井		廻縁	天井高	柱型	梁型	備 考	フラインド、カーテン ボックス		
		下地	耐湿層仕様				下地	耐湿層仕様										
1階	ロビー1、廊下	F1	ビニル床シートA 一部: 視覚障害者用PVCタイル	+0 -10	壁仕上り同L ソフト巾木	60	WC3 EP	C3 下り壁部: PB ϕ 12.5	RB ϕ 12 EP	塩化ビニル	2.400	WC3						
	風除室	F3	磁器質タイル200角	+0 -50		60	WC3	LGS 下り壁部: LGS	アルミパネル ϕ 2.5 アルミパネル ϕ 2.5	塩化ビニル	2.600	FP						
	事務室	F1	ビニル床シートB	+0 -10	ソフト巾木	60	WC1, W3	EP	化粧PB ϕ 9.5	塩化ビニル	2.400	壁仕上り同L						
	会議室	F1	ビニル床シートB	+0 -10	ソフト巾木	60	WC1, W3	EP	化粧PB ϕ 9.5 (木目調)	木製	2.600 2.400	壁仕上り同L				カーテンレール (入口上部 シングル)		
	休憩室	F1	木製床組+発泡板 ϕ 12 磁器質タイル	+200 +0 -10	畳 ソフト巾木	60	WC1, W3	ビニルクロス	化粧PB ϕ 9.5 (木目調)	木製	2.600 2.400	壁仕上り同L						
	湯沸室	F1	ビニル床シートB	+0 -10	ソフト巾木	60	WC1, W3	EP	化粧PB ϕ 9.5	塩化ビニル	2.400	壁仕上り同L					流し台 (W1, 200)	
	WC (事務室)	F1	ビニル床シートB	+0 -10	ソフト巾木	60	WC1, W3	VP	化粧PB ϕ 9.5	塩化ビニル	2.300	壁仕上り同L					化粧壁 (設備工事)	
	売店	F1	ビニル床シートA	+0 -10	壁仕上り同L	60	WC3	WC3	C3	RB ϕ 12	塩化ビニル	2.400	WC3					
	更衣室 (男・女)	F1	ビニル床シートC	+0 10	ソフト巾木	60	WC3	WC3	C4	VP	塩化ビニル	2.400	WC3					更衣ブース
	洗面コーナー	F1	ビニル床シートC	+0 -10	ソフト巾木	60	WC3	WC3	C4	VP	塩化ビニル	2.400	WC3					化粧壁 (設備工事) 洗面カウンター
管 理 棟	シャワー室	F3	磁器質タイル100角	+0 -100	壁仕上り同L		W4, W5	陶器質タイル100角	○	バスリブ (準不燃)	アルミ製	2.400					シャワーブース	
	WC (更衣室)	F3	磁器質タイル100角	-50 -65 -100	磁器質タイル100角	100	WC1	VP	C4	○	VP	塩化ビニル	2.400	WC3				化粧壁 (設備工事) トイレブース
	通路 (更衣室)	F1	エポキシ樹脂接着剤	+0 -10	磁器質タイル100角	100	WC1	VP	C4	○	VP	塩化ビニル	2.400	WC3				
	強制シャワー・足洗い槽	アスファルト防水 (E-1) + 押入コンクリート ϕ 60 + F3	磁器質タイル50角	-100 -205	壁仕上り同L		W4	磁器質タイル50角	C4	○	VP	塩化ビニル	2.400	壁仕上り同L				
	ボイラー室	F1	ウレタン系防湿塗料	+0 -10	床仕上り同L (目地合わせ)	100	WC2	GW ϕ 25ガラスクロス包み	C2					壁仕上り同L				天井仕上り同L
	機械室1	F1	ウレタン系防湿塗料	+0 -10	床仕上り同L (目地合わせ)	100	WC2	GW ϕ 25ガラスクロス包み	C2					壁仕上り同L				天井仕上り同L
	CO ₂ ボンベ室	F1	ウレタン系防湿塗料	+0 -10	床仕上り同L (目地合わせ)	100	WC2	WC2	C2					壁仕上り同L				天井仕上り同L
	ろ過機室	F1	ウレタン系防湿塗料	-500 -510	床仕上り同L (目地合わせ)	100	WC1 VP	FU ϕ 20 + SPB ϕ 12.5	FU ϕ 20 + SPB ϕ 12.5	VP				壁仕上り同L				天井仕上り同L
	EV機室	F1	ウレタン系防湿塗料	-100 -200	床仕上り同L (目地合わせ)	100	WC2	GW ϕ 25ガラスクロス包み	C2					壁仕上り同L				天井仕上り同L
	設備室	F1	エポキシ樹脂接着剤	+0 -10	壁仕上り同L	60	WC3	WC3	○	バスリブ (準不燃)	アルミ製	2.300						
浴槽	アスファルト防水 (E-1) + 押入コンクリート ϕ 60 + FP ϕ 25 + F3	磁器質タイル50角	-220 -390			WC4	磁器質タイル50角	○	バスリブ (準不燃)	アルミ製	2.300							

- 特記
- 特記なき限りコンクリート金ゴテのコンクリート打ちは 仕上厚込み ϕ 10とする。
 - 床仕上りレベル・躯体レベルは 基準FLよりの高さを示す。
 - ビニル床シートの接着剤は 原則としてJISA5536による。
 - 巾木の高さは 床仕上りからの高さを示す。
 - 天井の高さは 基準FLよりの高さを示す。
 - 特記なき限りLGS壁は天井 (床又はスラブ) まで施工すること。
 - 特記なき限り天井下地は、乾粒天井下地とする。
 - コンクリート化粧打直し仕上りにおいて、補修が必要な場合は、超耐候性アルミシリコ樹脂系仕上げを施すこと。(両面工法同等以上)
 - 原則として外部に面する内装は、現場発泡断熱ウレタン ϕ 20を施すこと。
 - 室内を通る雨水配管は防湿巻 (透湿タイプ) を施すこと。外部配管は、特記なき限り配管用保護管 (SGP) の上、FP塗料。
 - ガラスワールネット・包巻 ϕ 25の壁下地にはアルミ見切り層を設けること。
 - PB・CAの下地としてRC壁とLGS壁が隣接する場合、RC壁はGL工法又は接着剤工法を用い、発泡ポリウレタンを取り付ける。
 - 床仕上りにおいて、真鍮仕上り材の境界には、見切りとしてマニラ2目地 ϕ 5を設ける。
 - ルーフトレインのラダー下は、1.0×0.9×1.0の範囲でスラブの打直しを行う。
 - スチール材を外部に使用する場合は、溶融亜鉛メッキを施し、FP塗料を行う。
 - PB・化粧PBは、下地材/内部材のある場合は、不燃材認定法を使用する。
 - 壁・天井においてPBの継目は、シーパージョイントとしジョイントレスに仕上げ。
 - 天井の継ぎ目、壁内には1.5m以上、壁外には1.0m以上の場合は、縦横間隔1.8m程度に丸窓 ϕ 及び[-19×10×1.2]を用いて吊りボルトの掘止め補強を行い、水平向き材は、端部を壁に固定する。
 - パネル材を外部及びプール室・機械室に使用する場合は、溶融亜鉛メッキを施す。
 - ボード張り出隅部は、コーナー保護物 (アルミ製) を使用する。
 - 1階床下 (アルミ製を除く) は、FP ϕ 25打込みとする。
 - 特記なき限りコンクリート打ちし補修のコンクリート打ちは ϕ 10とする。

山下・福島特定設計委託共同企業体	施工監理	訂正	特記	図面番号	仕上表-1	A-010
	承認			図面内容	N. S	建築一般図
	作成			図面区分		

県立敷島公園屋内水泳場 (仮称) 建築工事

床下地リスト

F1: コンクリート金ゴテ	W1: FU②20 + PB②12.5 (GL工法 ホードは天井まで)	WC1: コンクリート打放し補修 (型枠B種 コーン壁: 樹脂モルタル充填)
F2: コンクリート木ゴテ処理	W2: LGS + PB②9.5+12.5 (両面 スラブまで)	WC2: コンクリート打放し (型枠C種 セレクター取付時 養生の確保)
F3: F2 + モルタル下地	W3: LGS + PB②9.5+12.5 (両面 天井まで)	WC3: コンクリート化粧打放し (型枠B種 コーン壁: 樹脂モルタル充填)
F4:	W4: モルタル下地	WC4:
W5: コンクリートブロック		
W6: LGS + CA②6		
W7:		

天井下地リスト

C1: コンクリート打放し補修 (型枠B種)	C2: コンクリート打放し (型枠C種)	C3: LSC + PB②9.5	C4: LSC + CA②6 (Vカット実行)	C5:
------------------------	----------------------	------------------	-------------------------	-----

不燃認定番号リスト

PB②9.5	単不燃第2015号	EP	基材同等第0001号
PB②12.5	不燃第1003号	内装吹付	基材同等第0001号
化粧PB②9.5 (不燃)	不燃第1004号	GW+ガラスクロス包み	不燃第1032号
化粧PB②9.5	単不燃第2016号	ビニルクロス	基材同等第0003号
SPB②12.5	単不燃第2018号	バスリブ	単不燃(個)第2671号
RW②12	不燃第1021号		
CA②6	不燃第1061号		
FGボード⑩	不燃(個)第1424号		

材料種類別符号

PB	石膏ボード	LGS	軽鉄骨仕切り壁	CB	カーテンボックス	VP	強化ビニル樹脂エナメル
SPB	シーリング石膏ボード	FW	鋼鉄パーテーション	BB	ブラインドボックス	EP	合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)
CA	ウレタン樹脂石膏ボード	LSC	軽鉄下地	CL	カーテンレール (ダブル)	FP	フル樹脂エナメル
化粧PB	化粧石膏ボード	FU	現場発泡断熱ウレタン吹付	C	カーテン (ドレープ+レース)	OP	合成樹脂調合ペイント
RB	ロックウォール化粧石膏ボード	GL	GL工法 (直貼り工法)	R	ロールスクリーン	OSCL	オイルステインクリアラッカー
FP	フォームポリスチレン					AIP	アルミニウムペイント
GW	グラスウール					FU-BE	フッ素樹脂エナメル塗料
RW	ロックウォール						

塗料種類別符号

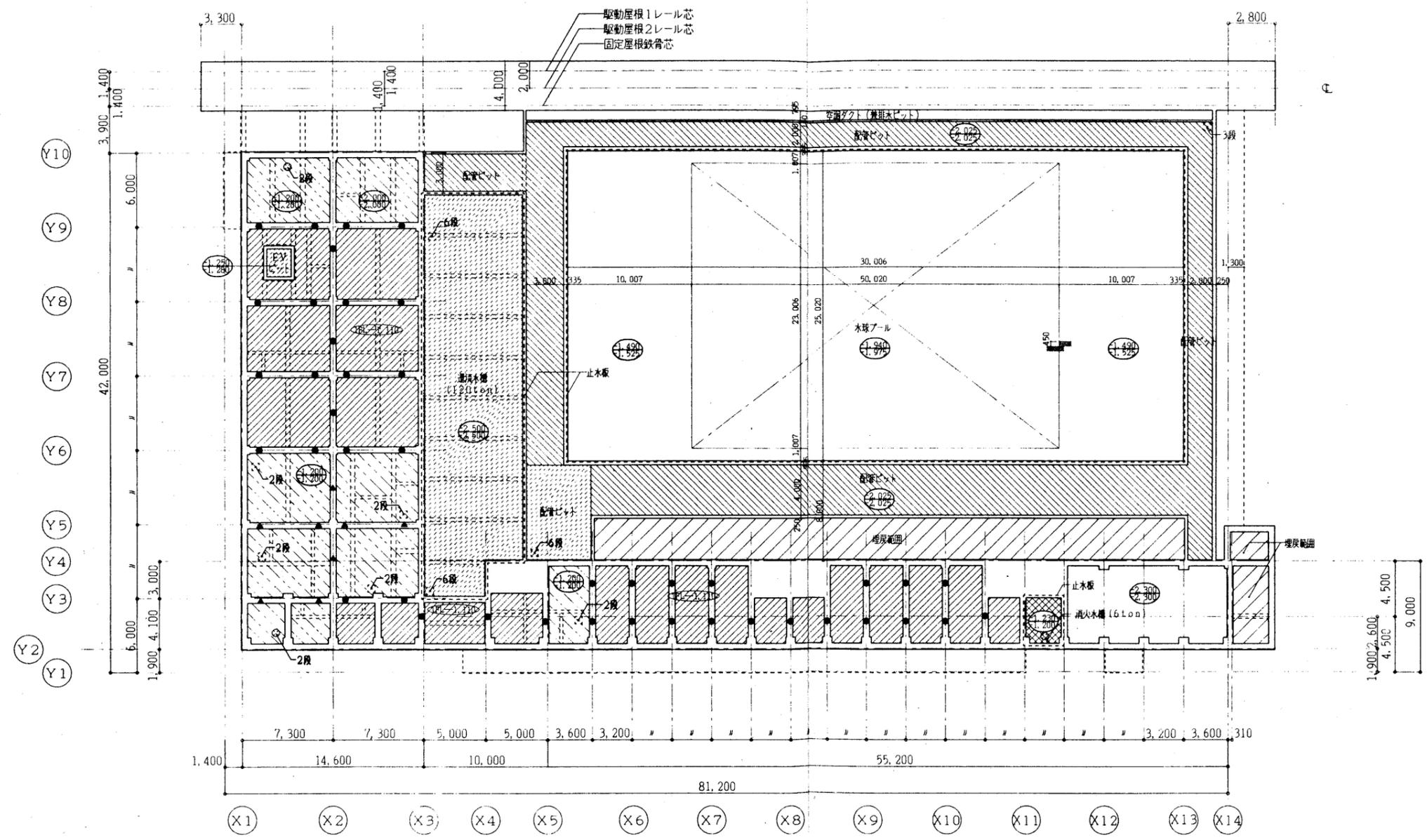
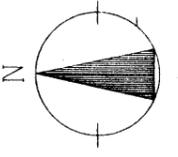
VP	強化ビニル樹脂エナメル	EP	合成樹脂エマルジョンペイント (アクリル系)	FP	フル樹脂エナメル	OP	合成樹脂調合ペイント	OSCL	オイルステインクリアラッカー	AIP	アルミニウムペイント	FU-BE	フッ素樹脂エナメル塗料
----	-------------	----	------------------------	----	----------	----	------------	------	----------------	-----	------------	-------	-------------

内部仕上表 平均重量メッキ90g/m²(片面)以上、タルエボキシ塗料 (JIS K 5664, 1種) 2面塗

区分	室名	床		仕上高	巾木又は腰	高さ	壁		天井		天井高	柱型	梁型	備考	フロア/天井	
		下地	躯体				下地	耐衝撃仕様	下地	耐衝撃仕様						
1階	大会運営室	F1	ビニル床シートB	±0	畳仕上と同じ	60	WC3	○	C3	RB②12	2.600	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ	浅し台 (W1, 500)		
	WC1	F1	ビニル床シートB	±0	ソフト巾木	60	WC1	○	C3	化粧PB②9.5	2.300	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ	化粧壁 (設備工事) トイレブース		
	監視室	F1	ビニル床シートB	±0	ソフト巾木	60	WC3	○	C3	化粧PB②9.5	2.600	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ			
	選手控室	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	ソフト巾木	60	W1	○	C3	化粧PB②9.5	2.600	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ			
	器具庫	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	ソフト巾木	60	W1, W2	○	C3	化粧PB②9.5	2.150	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ			
	機械室2	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	床仕上と同じ (目地合わせ)	100	WC2	○	C2	GW②25ガラスクロス包み	—	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ	2ton用U型フック-2ヶ 消火水栓内床、壁・防水モルタルの30金ゴテ仕上		
	倉庫1	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	床仕上と同じ (目地合わせ)	100	WC2	○	C2	—	—	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ			
	スライディングドア収納庫・DS	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	床仕上と同じ (目地合わせ)	100	W2	○	C2	—	—	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ			
	DS-1 (階段2内)	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	畳仕上と同じ	—	—	—	C2	—	—	—	—	—		
	OA・EA	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	畳仕上と同じ	—	—	—	C2	—	—	—	—	—		
プール室	プール槽	F1+樹脂モルタル防水	プール用セラミックタイル	±0	—	—	F1+樹脂モルタル防水	—	—	—	—	—	—	—	コースロープ用フック、オーバーフロー部: 投物タイル・プール用タイル	
	プールサイト	F1+FP③30+押入コンクリート②60 (ワイヤーメッシュφ6@100)	エポキシ系樹脂防湿塗料	±0	畳仕上と同じ	60	WC3	○	C1	—	—	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ	排水溝: 透水性セラミックブロック、うがい槽 プール用プラスチック製ロールグレーティング (W200)		
	通路1	F1+FP③30+押入コンクリート②60 (ワイヤーメッシュφ6@100)	エポキシ系樹脂防湿塗料	±0	ソフト巾木	60	W1 (SPB②12.5とF6)	○	C4	VP	2.400	畳仕上と同じ	—	洗足、うがい槽		
2階	ホール	F1	ビニル床シートA	±0	ソフト巾木	60	WC1	○	C3	RB②12	2.550	畳仕上と同じ	—	—	CB	
	トレーニング室	F1	ビニル床シートB	±0	ソフト巾木	60	WC1	○	C3	RB②12	2.550	畳仕上と同じ	—	—	CB	
	WC3	F1	ビニル床シートB	±0	ソフト巾木	60	WC1	○	C3	化粧PB②9.5	2.300	畳仕上と同じ	—	—		
	空調機室	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	床仕上と同じ (目地合わせ)	100	WC2	○	C2	GW②25ガラスクロス包み	—	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ	—		
	通路A	F1	ビニル床シートC	±0	畳仕上と同じ	60	WC3	○	C3	—	—	—	—	—		
2・3階	観覧席 (2・3階)	F1, PC床裏地	ウレタン系床床	±0	畳仕上と同じ	60	WC3	○	C2	—	2.800	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ	床裏: 硬化型強化ビニル押出成形品 (ベンチタイプ)		
	通路B	F1	ウレタン系床床	±0	WC3, ソフト巾木	60	WC3	○	C4	VP	2.400	WC3	WC3	—		
	WC2 (男・女)	F1+樹脂ビニル床シート防水+モルタル	磁器質タイル100角	±0	磁器質タイル H=150	100	WC1, W5	○	C4	化粧PB	2.300	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ	化粧壁 (設備工事) トイレブース		
	身障者用WC	F1+樹脂ビニル床シート防水+モルタル	磁器質タイル100角	±0	磁器質タイル H=100	100	WC1, W5	○	C4	化粧PB	2.300	畳仕上と同じ	畳仕上と同じ	化粧壁 (設備工事) ステップ製手摺		
	ロビー2	F1	ウレタン系床床	±0	ソフト巾木	60	W1 (上部)	○	C4	VP	7.050	WC3	WC3	—		
	ブリッジ (ロビー2上部)	F1	ウレタン系床床	±0	ソフト巾木	60	W1	○	C4	VP	—	—	—	—		
	通路C (3階)	F1	ウレタン系床床	±0	WC3, ソフト巾木	60	WC3, VP	○	C4	C2	2.300	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ	—		
共通	DS-2 (屋外階段2)	F1	ウレタン系防湿塗装	±380	—	—	WC2	○	C2	—	—	—	—	—		
	倉庫2	F1	ウレタン系防湿塗装	±0	畳仕上と同じ	60	WC2	○	C2	—	—	—	—	—		
	階段1	F3	両面・覆上: ビニル床シートB	±0	ソフト巾木	60	W1, W3	○	C3	RB②12	2.550	畳仕上と同じ	天井仕上と同じ	—		
	階段2	F3	両面・覆上: ビニル床シートB	±0	ソフト巾木	60	WC3	○	C4	両面: C2	2.600	—	—	—	ノンスリップ: 合成ゴム製 (ステンレス下地) W40 手摺: 木製	
PS内	F1	ウレタン系床床	±0	ソフト巾木	60	WC2, LGS	○	C4	C2	—	—	—	—	ノンスリップ: 合成ゴム製 (ステンレス下地) W40 手摺: 木製		

特記

- 特記なき限りコンクリート金ゴテのコンクリート打放しは、仕上厚みで⑩とする。
- コンクリート化粧打放し仕上において 補修が必要な場合は、超耐候性アクリルシリコン樹脂系仕上げを施す。(吉田工法同等以上)
9. 室内を遮る雨水配管は防湿層 (透湿タイプ) を施すこと。外配管は、特記なき限り配管用保護管 (SGP) の上、FP塗装。
10. 室内を遮る雨水配管は防湿層 (透湿タイプ) を施すこと。外配管は、特記なき限り配管用保護管 (SGP) の上、FP塗装。
11. グラスウールネ、包張り②25は地下地にはアルミ見切り層をいれること。
12. PB・CAの下地としてRC部とLGS部の隣接する場合は、RC部はGL工法又は接着剤工法を用い、塩ビジョイナーを敷く。
13. 床仕上において 異種仕上材の境界には、見切りとしてステンレス目地⑨を設ける。
14. ルーフドレン廻りのスラブ下は、1,000×1,000の範囲でスラブの浮きを行う。
15. スチール材を外部に使用する場合は、溶融亜鉛メッキを施し、FP塗装を行う。
16. PB・化粧PBは、下地不燃の内部にある場合は、不燃材認定品を使用する。
17. 壁・天井においてPBの端目は、テープジョイントとしジョイントレスに仕上げる。
18. 天井の端が、室内にあっては1.5m以上、屋外にあっては1.0m以上の場合は、取巻間隔1.8m程度に丸形φ及び[=]9×10×1.2以上を用いて吊りボルトの締め補強を行い、水平つなぎ材は、端部を壁に固定する。
19. スチール材を外部及びプール室・観覧席に使用する場合は、溶融亜鉛メッキを施す。
20. ボード張り出隅部は、コーナー保護物 (アルミ製) を使用する。
21. 1階床下 (プール室を除く) は、FP②25打込みとする。
22. 特記なき限りコンクリート打放し壁のコンクリート打放しは、⑩とする。
23. プールサイト下のコンクリート床裏の仕上げは、エポキシ系床床 (プール用) とする。



山下・福島特定設計委託共同企業体

訂正

特記
 地盤表層処理は下記を断り RCI 設とす
 ① : 地盤の50
 ② : 地盤の50
 ③ : 地盤の50
 ④ : 地盤の50
 ⑤ : 地盤の50
 ⑥ : 地盤の50
 ⑦ : 地盤の50
 ⑧ : 地盤の50
 ⑨ : 地盤の50
 ⑩ : 地盤の50
 ⑪ : 地盤の50
 ⑫ : 地盤の50
 ⑬ : 地盤の50
 ⑭ : 地盤の50
 ⑮ : 地盤の50
 ⑯ : 地盤の50
 ⑰ : 地盤の50
 ⑱ : 地盤の50
 ⑲ : 地盤の50
 ⑳ : 地盤の50
 ㉑ : 地盤の50
 ㉒ : 地盤の50
 ㉓ : 地盤の50
 ㉔ : 地盤の50
 ㉕ : 地盤の50
 ㉖ : 地盤の50
 ㉗ : 地盤の50
 ㉘ : 地盤の50
 ㉙ : 地盤の50
 ㉚ : 地盤の50
 ㉛ : 地盤の50
 ㉜ : 地盤の50
 ㉝ : 地盤の50
 ㉞ : 地盤の50
 ㉟ : 地盤の50
 ㊱ : 地盤の50
 ㊲ : 地盤の50
 ㊳ : 地盤の50
 ㊴ : 地盤の50
 ㊵ : 地盤の50
 ㊶ : 地盤の50
 ㊷ : 地盤の50
 ㊸ : 地盤の50
 ㊹ : 地盤の50
 ㊺ : 地盤の50
 ㊻ : 地盤の50
 ㊼ : 地盤の50
 ㊽ : 地盤の50
 ㊾ : 地盤の50
 ㊿ : 地盤の50
 上層MH
 2階-タテブツ位置を示す
 ▲ 通気管 (上層) VP100φ
 + 通気管 (下層) VP200φ/2
 ● 通気管 (上層) VP100φ

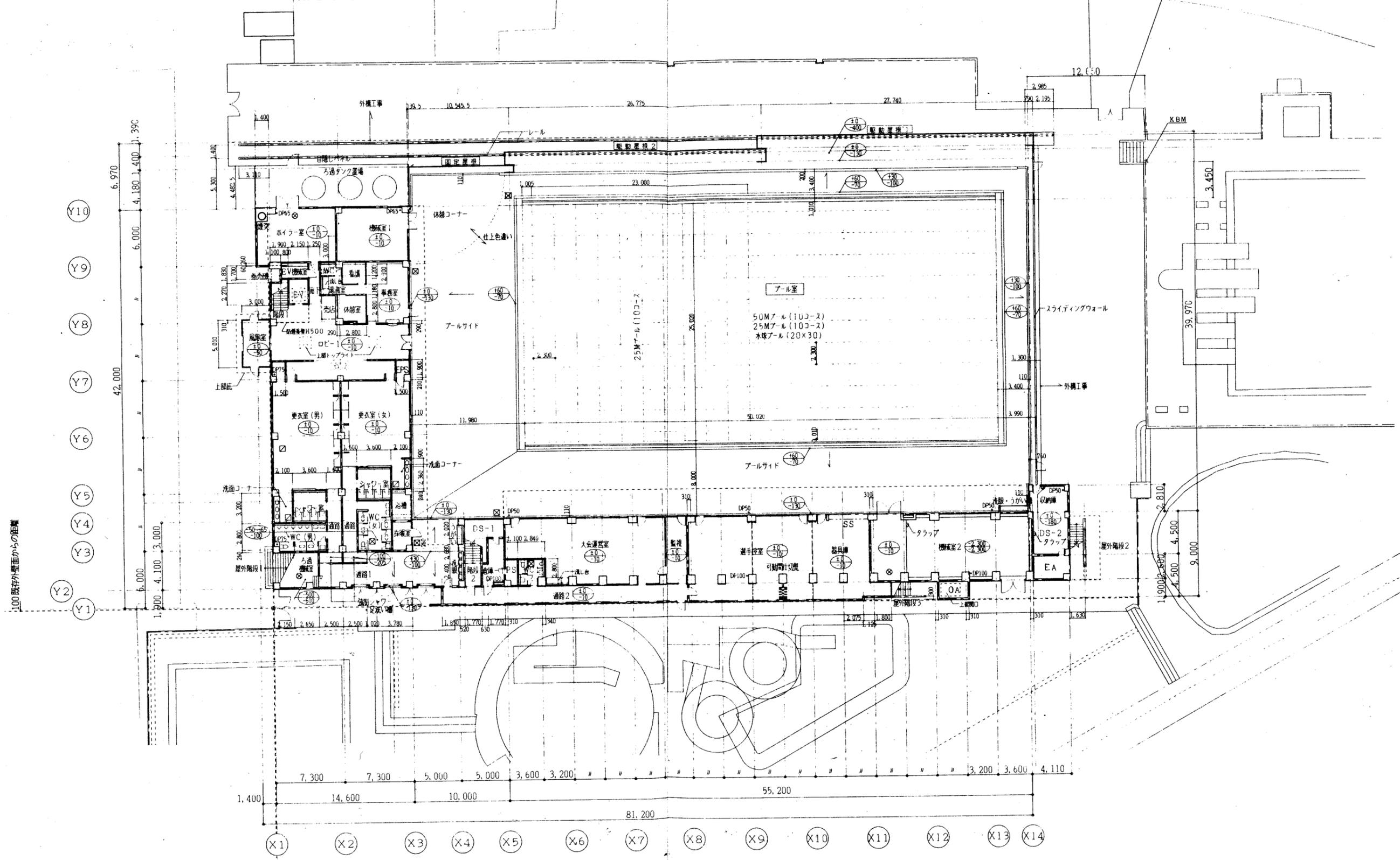
県立敷島公園屋内水泳場 (仮称) 建築工事

図面内容
ビット平面図

縮尺
1/200

図面番号
A-012

図内
区分
建築一般図



山下・福島特定設計委託共同企業体

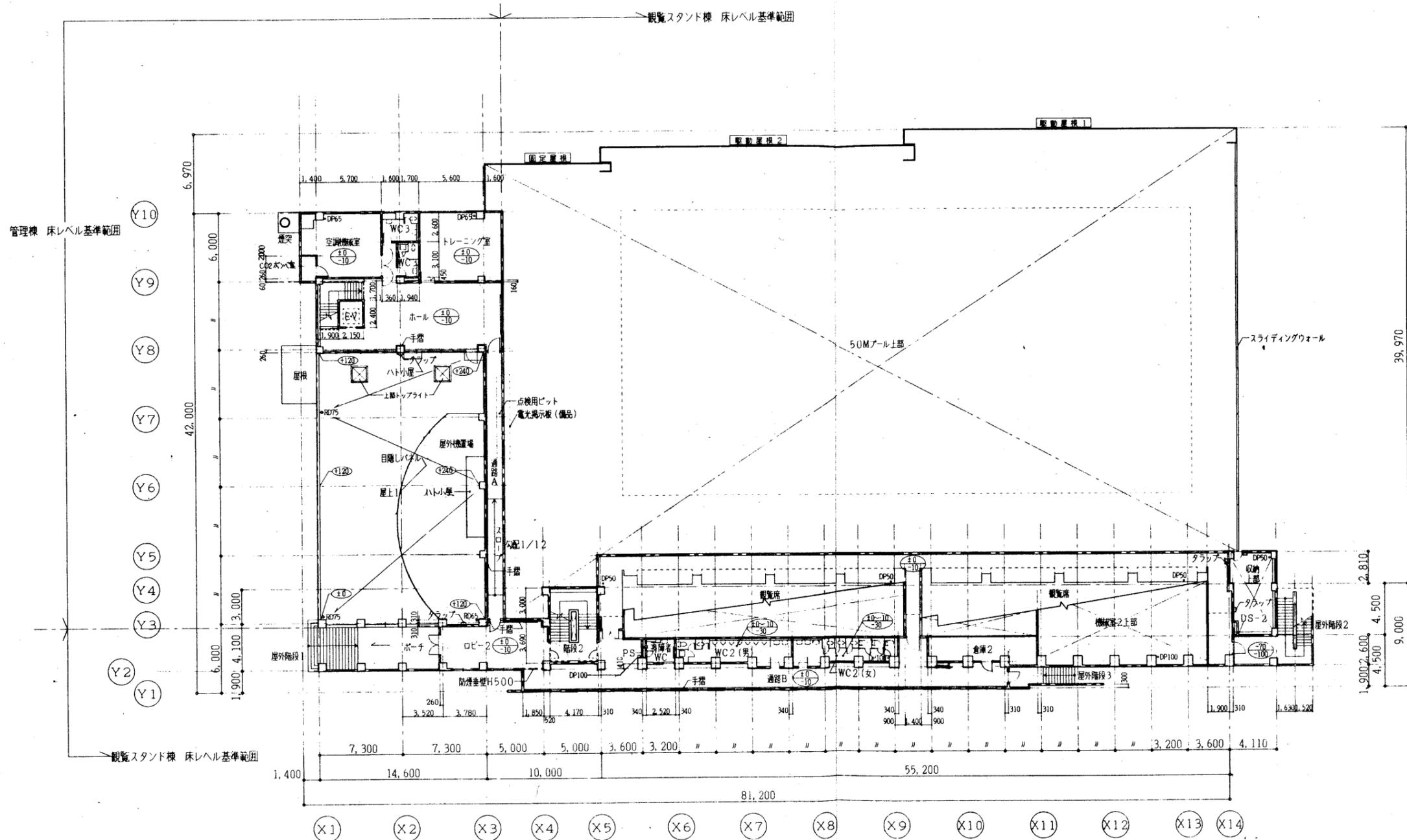
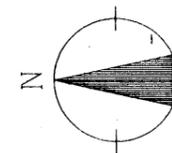
竣工	保管	訂正
承認		
確認		
作成		

特記	設計GL=XBM-1.67M
RC	
LGS	
CB	T150化粧
	屋内消火栓(消火器併設型)

鉄骨製MH600 \times (防水、防臭型)
鉄骨製化製MH600 \times (無臭密閉型)
フロアハッチ600 \times (アルミ種、防臭型)
○ FLからの仕上げレベル
○ FLからの躯体レベル

県立敷島公園屋内水泳場(仮称)建築工事

図面内容	1階平面図・配置図	図面番号	A-013
縮尺	1/200	区分	建築一般図



山下・福島特定設計委託共同企業体

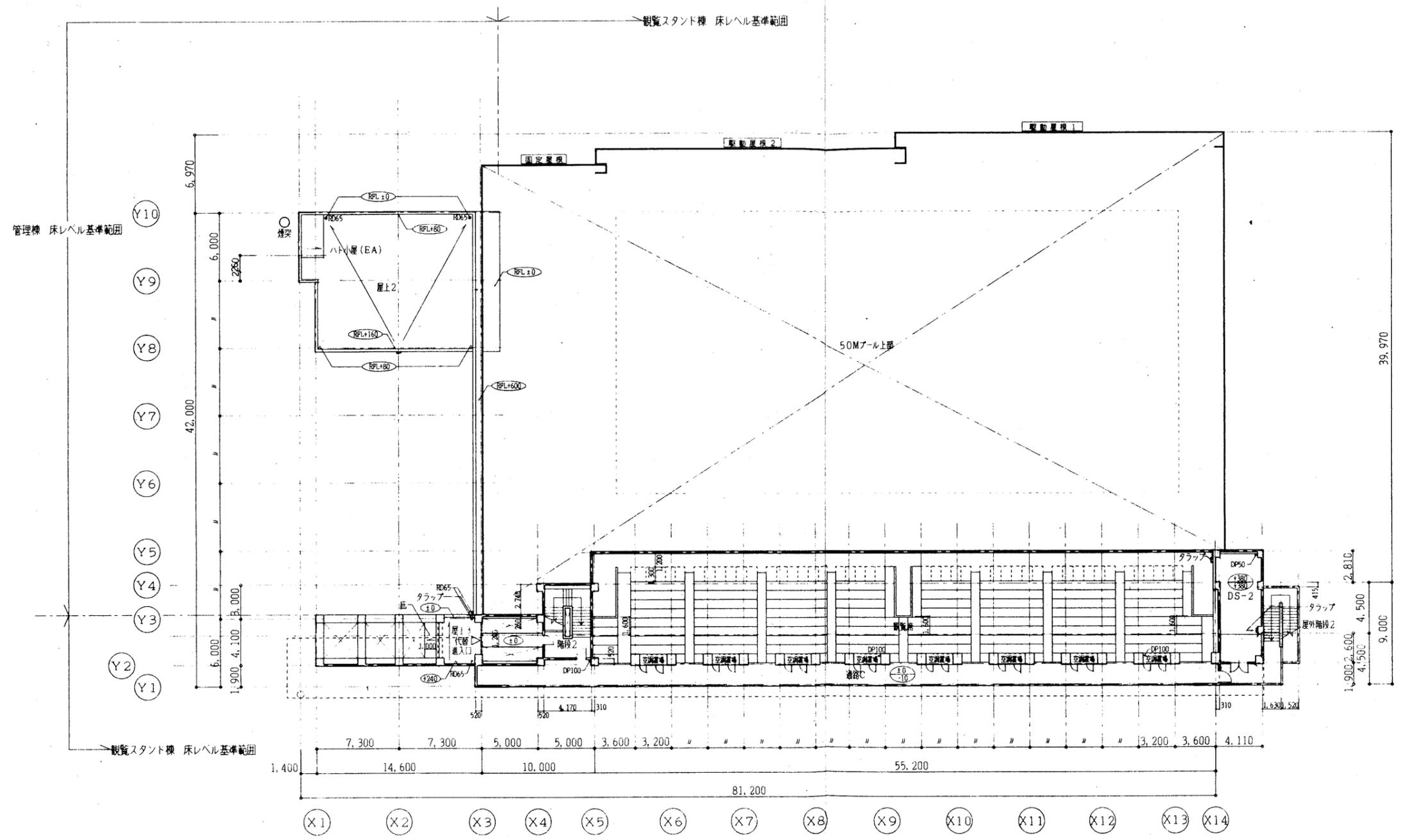
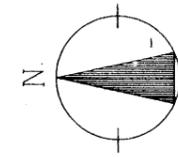
竣工図 検査	訂正
承認	
確認	
作成	

特記 RC壁 LGS壁 CB壁 T150化粧種 屋内外火栓 (消火器併設型)
--

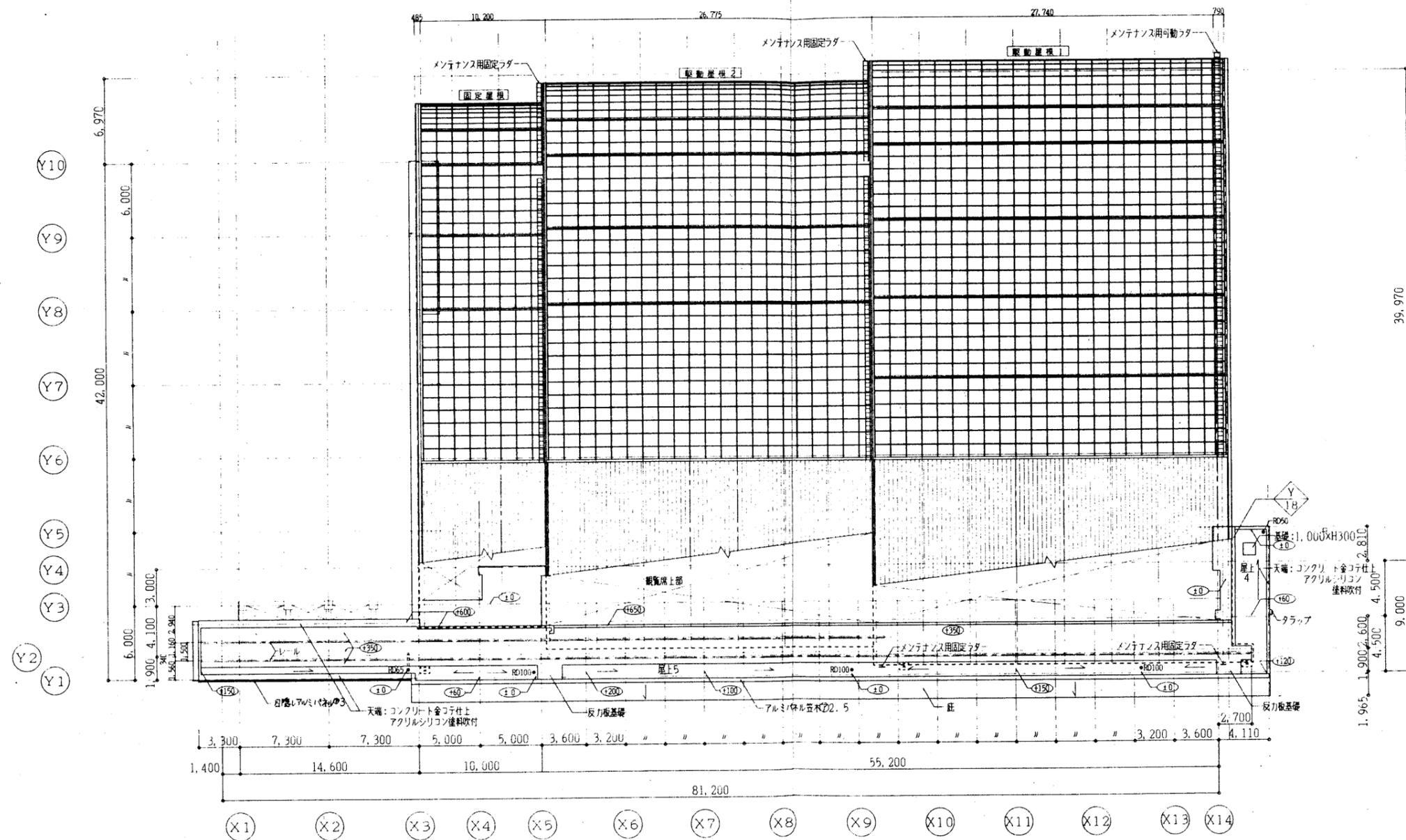
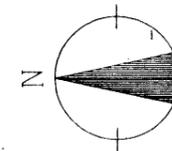
・観覧席2FL=観覧スタンド棟2FL+700とする。
 ⑩ — FLからの地上レベル
 ⑩-10 — FLからの階床レベル

県立敷島公園屋内水泳場 (仮称) 建築工事

図面内容	2階平面図	図面番号	A-014
縮尺	1/200	図内区分	建築一般図



山下・福島特定設計委託共同企業体	竣工図 図管	訂正	特記 RC壁 LGS壁 CB壁 T:50巾化粧 屋内内入機 (消火器併設型)	県立敷島公園屋内水泳場 (仮称) 建築工事 特記 RFL=観覧スタンド棟3FL-300とする。 ⑩ FLからの仕上レベル ⑪ FLからの観床レベル	図面内容	図面番号
	基礎 配管 作成				3階平面図	A-015
					縮尺	区分
					1/200	建築一般図



山下・福島特定設計委託共同企業体

竣工図保管
承認
確認
作成

訂正

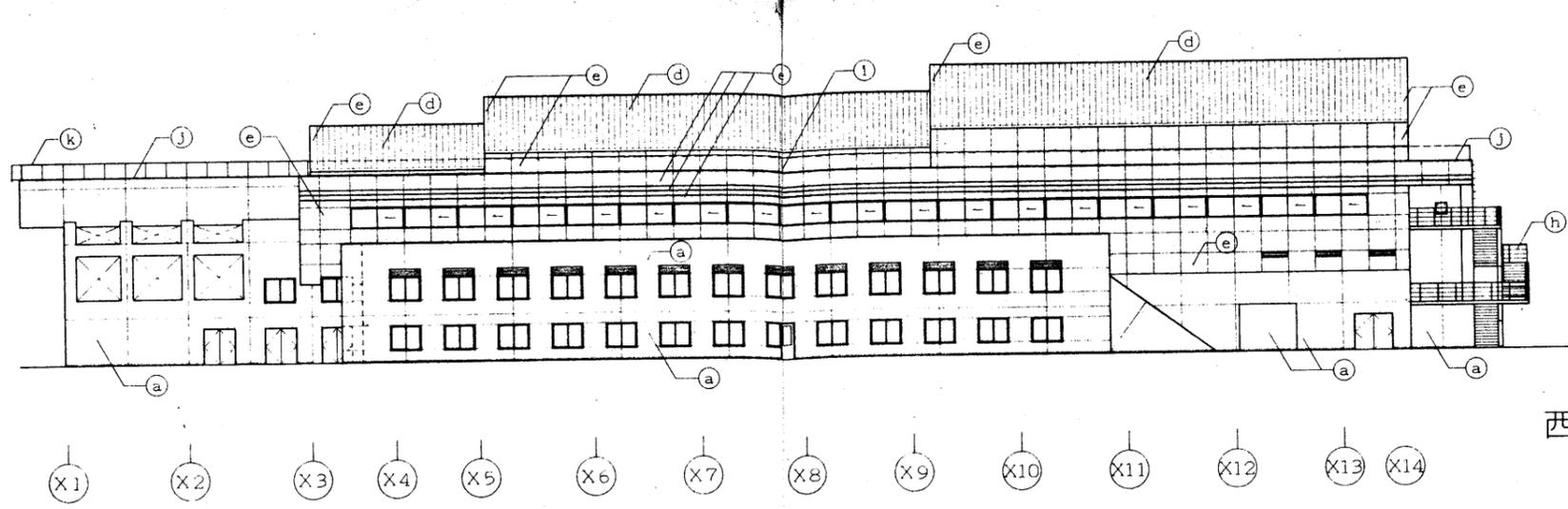
特記
RC壁
LGS壁
CB壁 T150化粧種
コンクリート平板 800x500xH100
屋内消火栓 (消火器併設型)

丸鋼 (ステンレス製)
FLからの軒先レベル

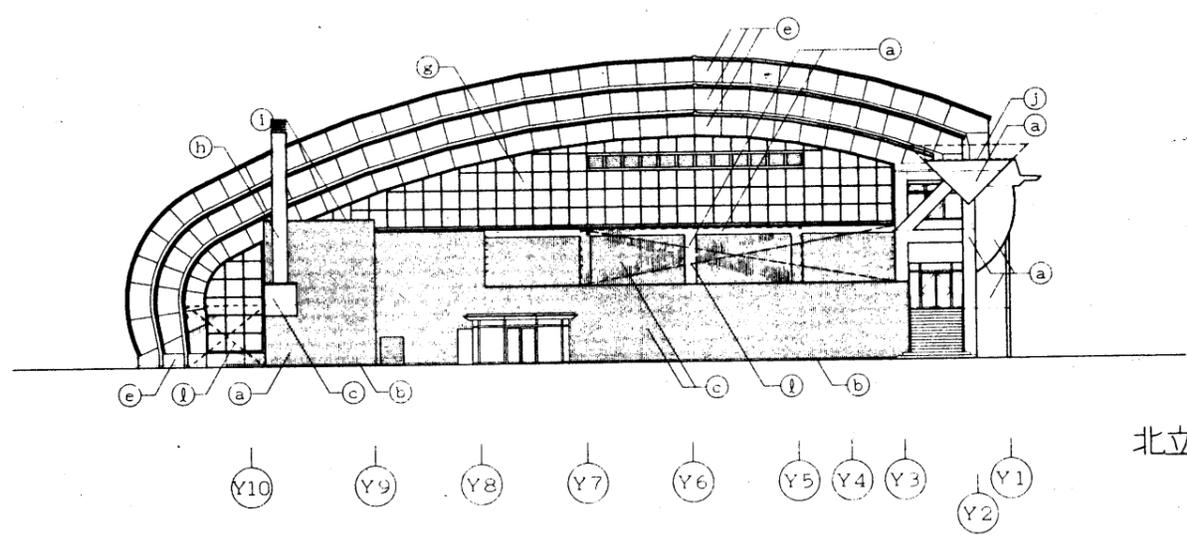
県立敷島公園屋内水泳場 (仮称) 建築工事

図面内容
屋根伏図
縮尺
1/200

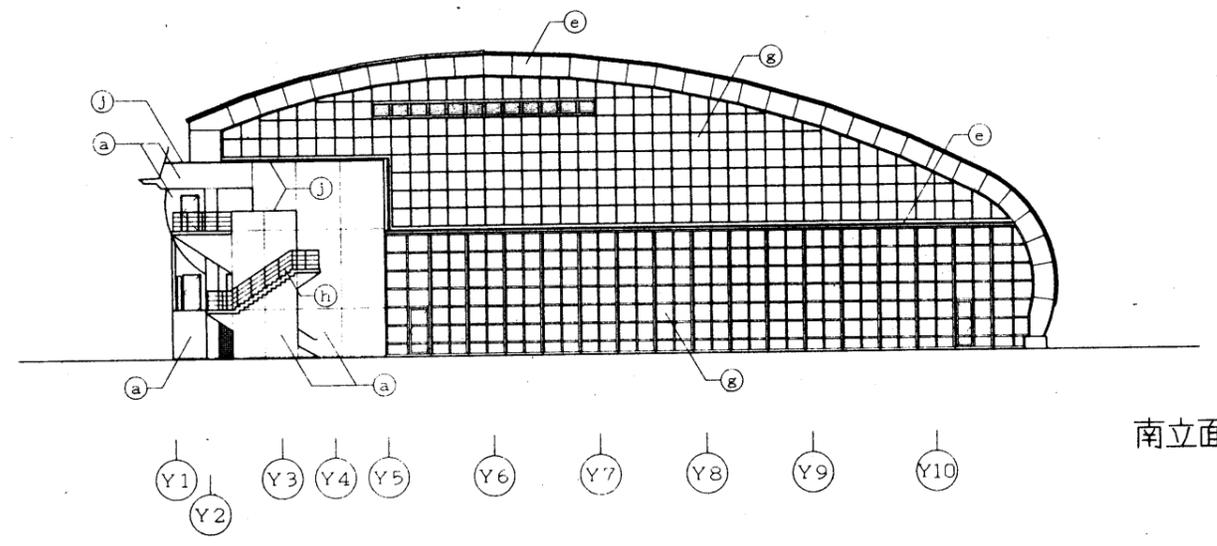
図面番号
A-016
数/内
区分
建築一般図



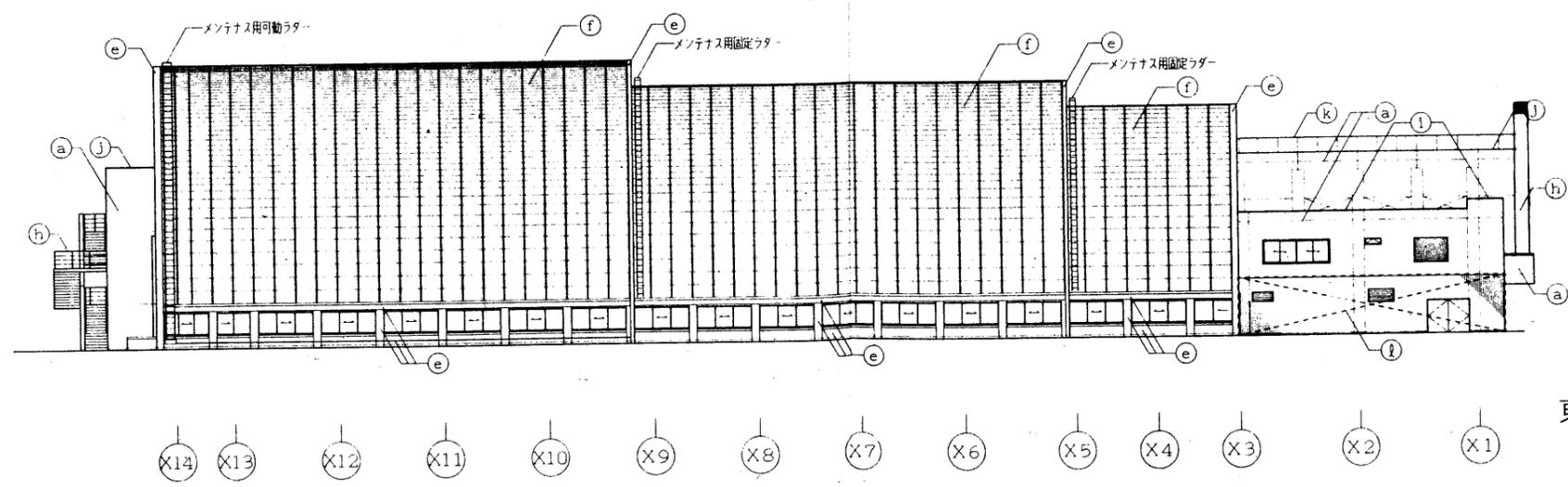
西立面图



北立面图



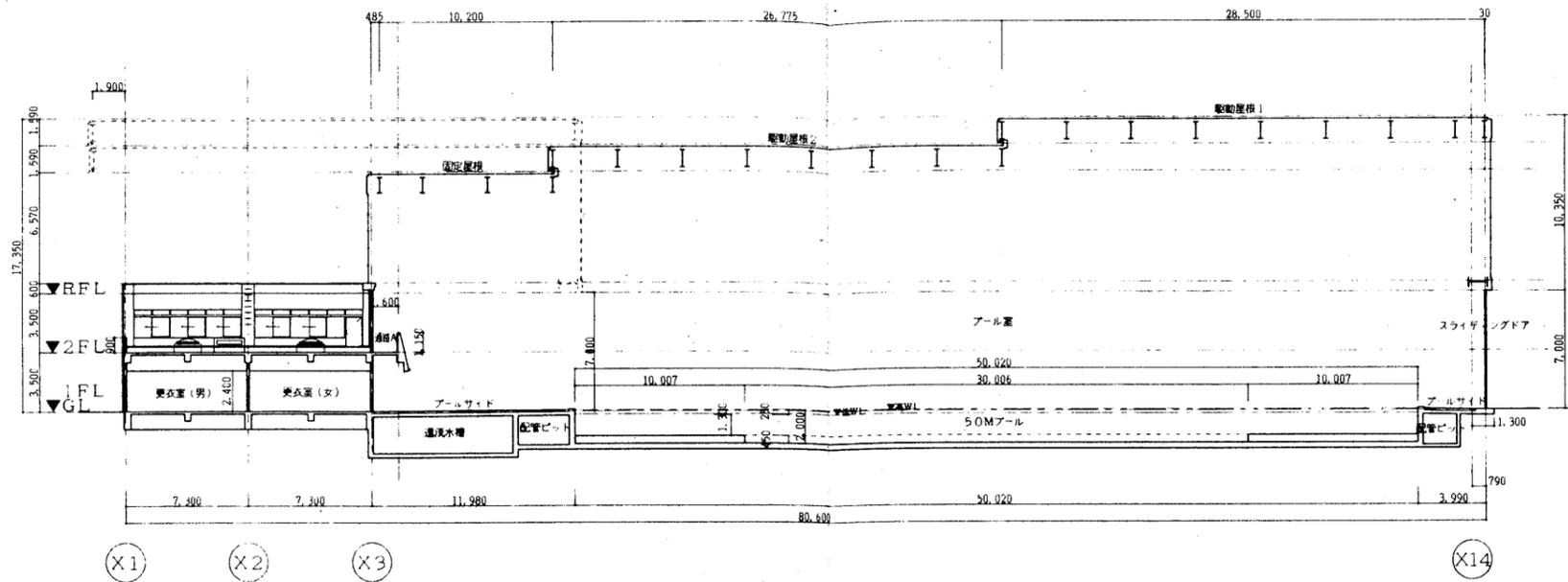
南立面图



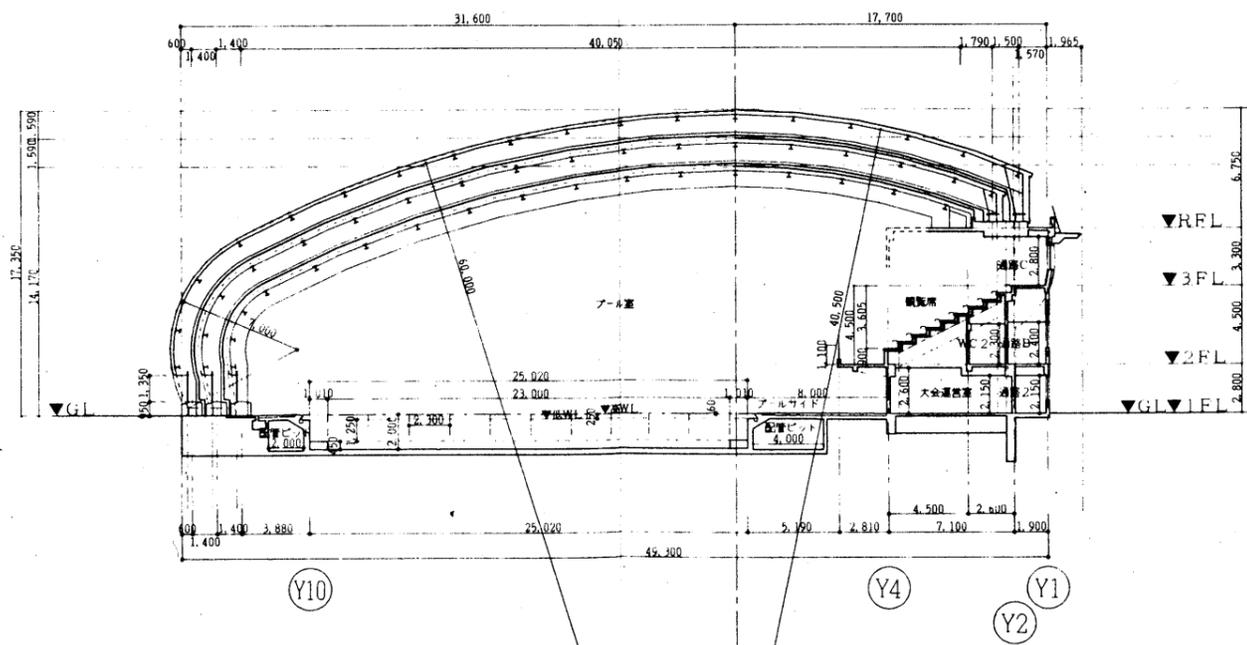
東立面图

凡例

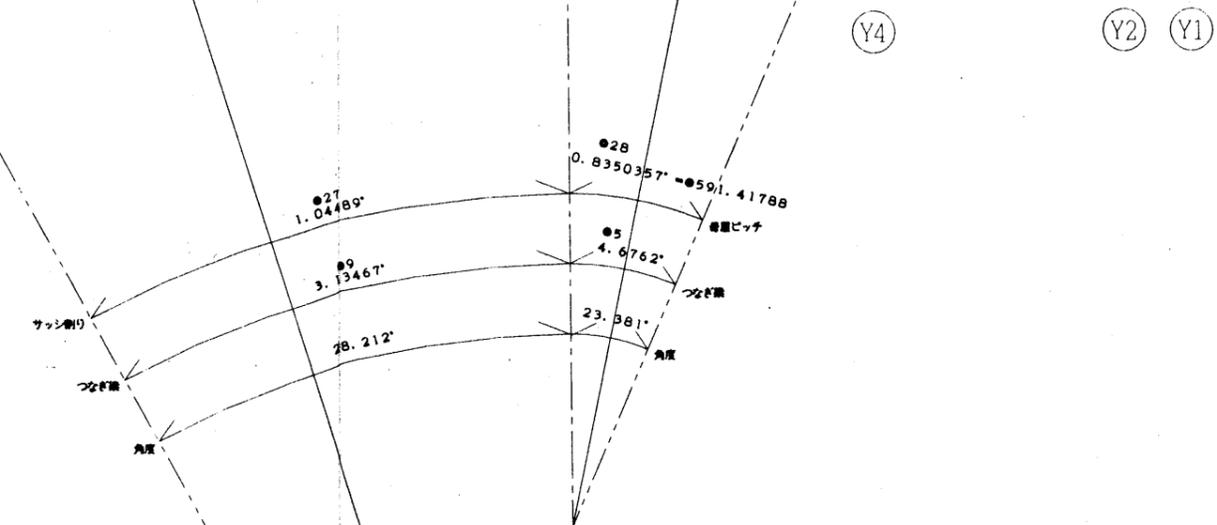
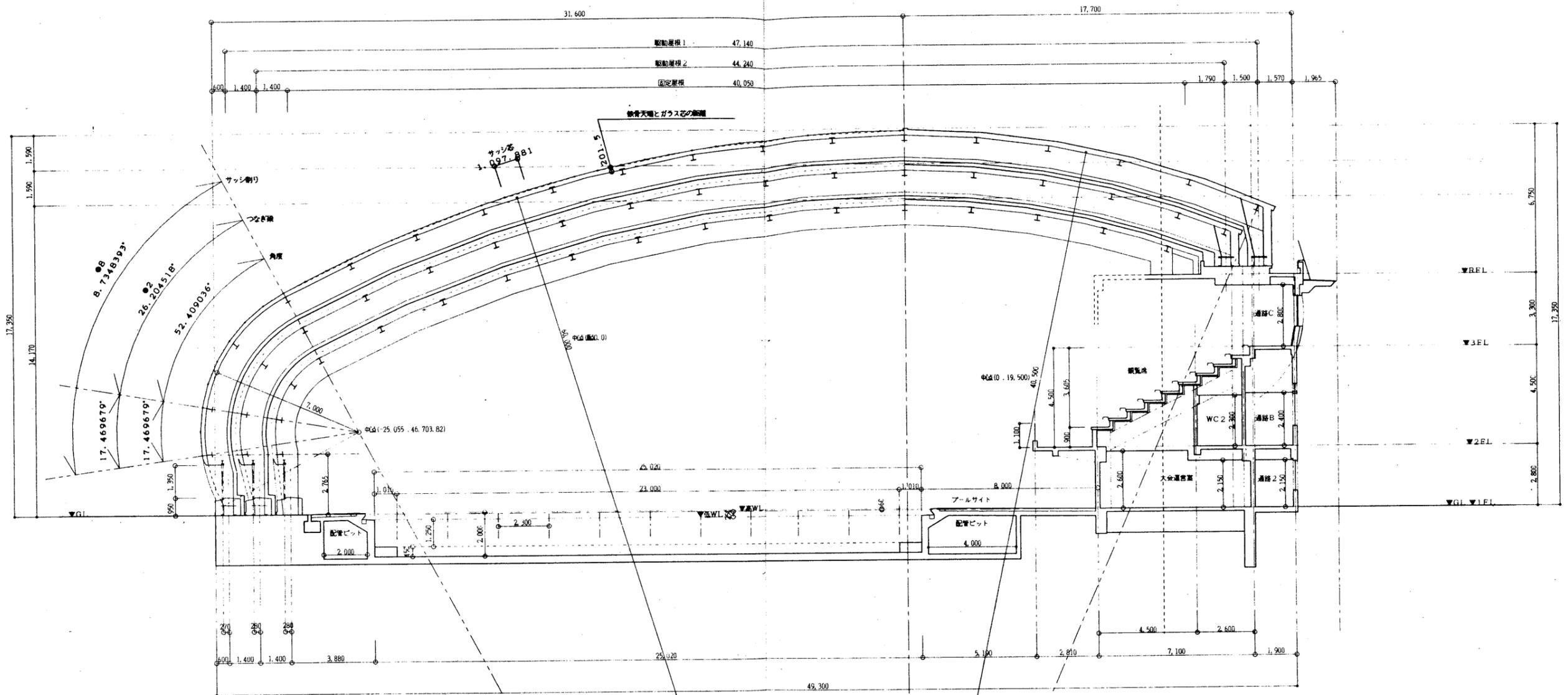
記号	仕上等
(a)	コンクリート化粧打放し仕上の上、アクリルシリコン系塗料吹付 (MOE,SD)
(b)	コンクリート化粧打放し仕上
(c)	溶融アルミメッキ鋼板φ0.5キーストンプレート加工
(d)	溶融アルミメッキ鋼板φ0.4立半巻(カービングルーフ)
(e)	アルミパネルφ2.5
(f)	複層ガラス (FL6+A6+PWC6.8)
(g)	強化ガラス
(h)	スチール、溶融亜鉛メッキの上、70x70mm倍付仕上
(i)	アルミ笠木
(j)	天端：コンクリート金コテ仕上の上、アクリルシリコン系塗料吹付 (透明)
(k)	目隠しパネル：アルミパネルφ30
(l)	目隠しパネル：溶融アルミメッキ鋼板φ0.5キーストンプレート加工



X-X断面図



Y-Y断面図



山下・福島特定設計委託共同企業体

竣工図	検査	訂正
承認		
確認		
作成		

特記

県立敷島公園屋内水泳場（仮称）建築工事

図面内容	断面図-2	図面番号	A-019
縮尺	1/100	図内区分	建築一般図

